

和泉の里では、ご利用者の生活や人権を守る為、様々な取り組みを実施しています。今号ではそういった取り組みを中心に紹介します。

令和7年度 辞令交付式



令和7年度10月1日に、後期の辞令交付式が執り行われ、田端理事長から一人ずつ辞令が交付されました。和泉の里は支援員2名、事務員1名、調理員1名、ささゆり作業所は支援員1名の計5名が、清光会職員としての第一歩を踏み出しました。皆さまよろしくお願ひします。

支援課課長 山下祐輔

秋の健康診断



ご利用者は健康診断を年に2回実施しています。健康診断は、健康状態の変化や病気等を早期に発見し、適切な医療やケアにつながります。今後ご利用者の皆様が、安心して施設生活を送ることができるよう、管理医師や職員と連携し、ご利用者の健康管理をしていきます。
看護師 森口直美



調理レクリエーション



9月25日に、日中活動の一環として調理レクリエーションを実施しました。今回は「牛乳クッキー」を調理しました。

ホットケーキミックスに材料を混ぜて生地を作り、生地から型を取り、電子レンジで温めると完成です。今回は材料の計量や型取りなど普段と違った工程もありましたが、皆さん楽しまれていました。

支援員 岡田拓磨



人権研修



9月2日～3日にかけて、講師として大阪公立大学大学院准教授「三田優子様」をお招きして、障がい者虐待「きほんのき」～気づきを学ぶ～を受講しました。

講義では、事例を通じてご利用者一人ひとりの生活が尊重され、個々の望む暮らしの実現に向けた支援のあり方について、熱く語っていただきました。

これからも清光会職員として、ご利用者の安心安全な支援体制をしっかりと構築していきます。

支援課課長 山下祐輔

防災訓練



和泉の里では年に数回、防災訓練をしています。火災、地震、土砂災害想定を行い、同じ想定災害であっても、火災場所や倒壊場所を変更し、想定時間を昼間だけでなく、人員配置の少ない夜間を想定し行うなど、様々な想定での防災訓練を行っています。

平成30年台風21号では、和泉の里は1週間の停電期間を経験しました。今後同様の事が起きない事を祈っていますが、近年様々な災害が多発しており、台風だけでなく、震災や和泉の里の立地条件に伴う土砂災害も想定されます。今後、あらゆる災害時のシミュレーションを行い、有事に備えます。

支援員 板本高幸

スポーツフェスタ2025



10月11日、ヤンマースタジアム長居で行われたスポーツフェスタ2025のフライングディスクアキュラシーの部に、ご利用者5名が出場されました。

皆さんリラックスした表情で競技に臨まれ、日頃の練習の成果を発揮されていました。特にMさんは安定して高得点を記録され、1位に入賞されていました。金メダルを授与され、とても嬉しそうにされていました。

今後も皆さんのチャレンジ精神や協調性を活かせるよう、様々な企画を実施していきます。

支援員 溝本朝弥